【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2004-501859(P2004-501859A)
【公表日】平成16年1月22日(2004.1.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-003
【出願番号】特願2002-507092(P2002-507092)
【国際特許分類】
*Ｃ３０Ｂ　29/52　(2006.01)*
*Ｃ３０Ｂ　15/00　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　31/04　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ３０Ｂ　29/52
Ｃ３０Ｂ　15/00　Ｚ
Ｈ０１Ｌ　31/04　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月26日(2008.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　元素Ｃｕ、Ｉｎ及びＳｅを含んでいる固体組成物の製造のための系の液相面を含む、状態図Ｃｕ－Ｉｎ－Ｓｅの使用。
【請求項２】　製造が、好ましくは晶出により、液相からの所望の固体組成物の直接形成を含んでいる、請求項１記載の使用。
【請求項３】　前記組成物が単一相の組成物、好ましくは単結晶の組成物である、請求項１又は２記載の使用。
【請求項４】　前記組成物が、Ｃｕ、Ｉｎ、Ｓｅ及び少なくとも１つの別の元素を含み、前記の少なくとも１つの別の元素を好ましくはＧａ、Ｎａ、Ｓの群から選択し、かつ前記の少なくとも１つの別の元素が、全組成物に対して５原子％までの量で存在する、請求項１から３までのいずれか１項記載の使用。
【請求項５】　前記組成物を、α－相、$\gamma_T$－相、$\delta_R$－相及び$\delta_H$相から選択する、請求項１から４までのいずれか１項記載の使用。
【請求項６】　前記組成物が、図５１及び５２に示されたような組成範囲内の化学量論$CuInSe_2$を有しているα－相であり、かつ場合により別の元素の存在により拡張される、請求項５記載の使用。
【請求項７】　状態図及び第４表に定義されたような一次晶出αＬ１、αＬ２、αＬ３及びαＬ４の液相面の群からの結晶成長により、液相からＣｕ－Ｉｎ－Ｓｅ　α－相を直接得る方法。
【請求項８】　α－相、$\gamma_T$－相、$\delta_R$－相及び$\delta_H$－相から選択された単一相のＣｕ－Ｉｎ－Ｓｅ組成物。
【請求項９】　図５１及び５２に示されたような組成範囲内の化学量論$CuInSe_2$を有しているα－相であり、かつ場合により別の元素の存在により拡張されている、請求項８記載の組成物。
【請求項１０】　単結晶である、請求項８又は９記載の組成物。